

# 東福岡高等学校・陸上競技部



「走姿顕心」を重んじ人間力を高め  
世界一・日本代表五人を輩出



陸上は個人競技ではなく、メンバーのために献身的に尽くす70名も合わせた団体競技。副部長の南達大先生・東良輔先生の役割も大きく、加えて百数十名の本校の先生方の指導の成果がこの結果に繋がっている。特に、全国レベルの各部同士での関係性が好循環を生み出し、部の内外において他にはない刺激を受けることができる。



ウォーミングアップは、フォーム矯正を兼ねて、階段歩きから始め、走りへとつなげていく。常に全国を賑わせるハードラー達



第74回全国高等学校総合体育大会陸上競技大会で優勝した4×400mリレーのメンバー

## Club activities introduction 部紹介

近年、高校陸上界で輝かしく顕著な成績を残している東福岡。今年のインターハイでは、4×400mリレーで優勝し、男子トラック総合準優勝を果たした。9年連続インターハイ入賞の他に、全国優勝10回と、まさに飛ぶ鳥を落とす勢いである。背景には、陸上競技を通して人間性を高めることを部員全員が理解し、共通の目的としていることが挙げられる。



用具類の手入れ・清掃を欠かさず行うことで、人やモノに対する感謝の気持ちを忘れないようにしている。

## Message from the director 監督からメッセージ

長年、スポーツ理論を研究しており、部員の資質に合わせた運動処方を行っています。部員は全員、当部を目指して入学した生徒のみで意識が高く、練習メニューは部員自身が決めて疑問点にのみアドバイスするのが基本です。座右の銘は「走姿顕心(そうしけんしん)」。陸上競技を通して立ち居振る舞いや人間性を学んで欲しいと願っています。



監督：植木 貴頼先生

## Student Voice



副キャプテン 400mH全国ランキング1位  
U18&U20日本記録保持者・300mH  
3年 中島 陽基さん

一番うれしかったのは、今年のU20日本陸上競技選手権で自己ベストを更新し、日本代表に選ばれたことです。タイムが伸びない辛い時もありますが、克服は練習しかなく、そこにタイムがついてくると確信し頑張っています。



キャプテン 110mH全国ランキング5位  
110mJH全国ランキング4位・福岡県高校記録保持者 3年 真名子 凌成さん

もっと足が速くなりたいというシンプルな思いから陸上競技を始め、強豪校で知られる本校に入学しました。キャプテンとして大人数をまとめるのは大変ですが、やる気がある部員ばかりなのでやりがいがあります。